広報用資料

2022 年 3 月 21 日

三沢市寺山修司記念館「VR展示」公開について

三沢市寺山修司記念館

事業概要

■企　画　名： VR展示

■開催期間　：各コンテンツ毎

無料体験版　2021 年 5 月～／有料版　2022 年 3 月 21 日～　※企画展毎に制作・入替

■公開場所：当館ホームページ内　専用ページ「VR展示」から

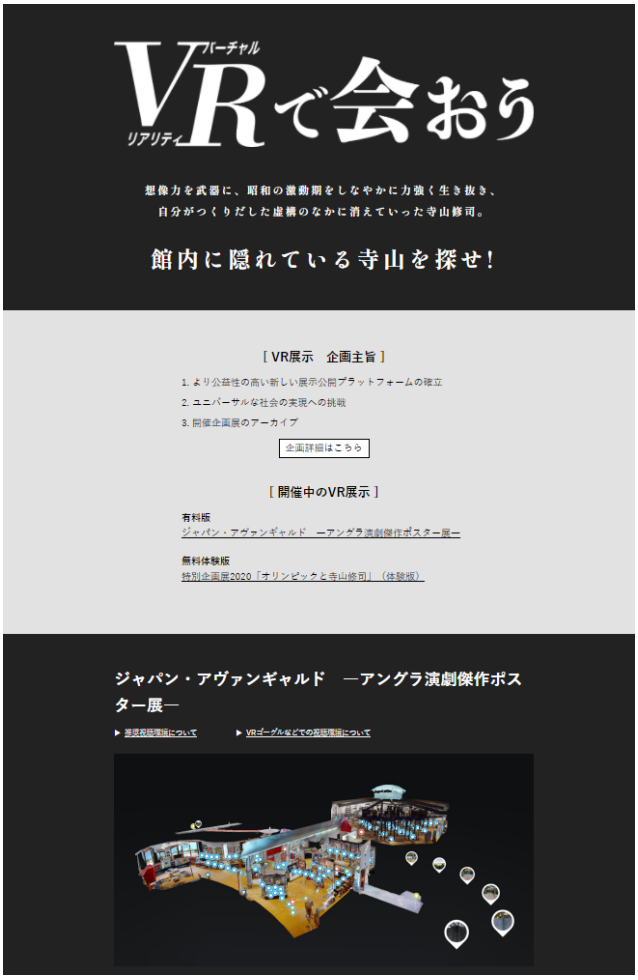
http://www.terayamaworld.com/vr/

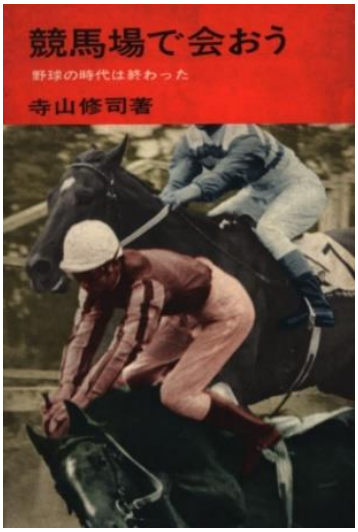
■利用方法：①お手持ちのパソコン、スマートフォン・タブレットをオンラインに。

無料体験版の場合　②　HP「VR 展示」ページから操作可能

有料版の場合　②　HP「VR 展示」から、ローソンチケットにてチケット購入後、利用可能

○「VR展示」 ページ イメージ画像





『競馬場で会おう』

（1966 年初版）

■VR ： バーチャルリアリティの略。日本語では、仮想現実という。現実にある空間を再現したり、実際には存在しない空間を現実のように体験させたりすることが出来るコンピュータ技術。現在は、利用者が特別な機器を持たなくても、スマートフォンや PC で手軽に体験できるようなシステムが一般普及しつつあります。

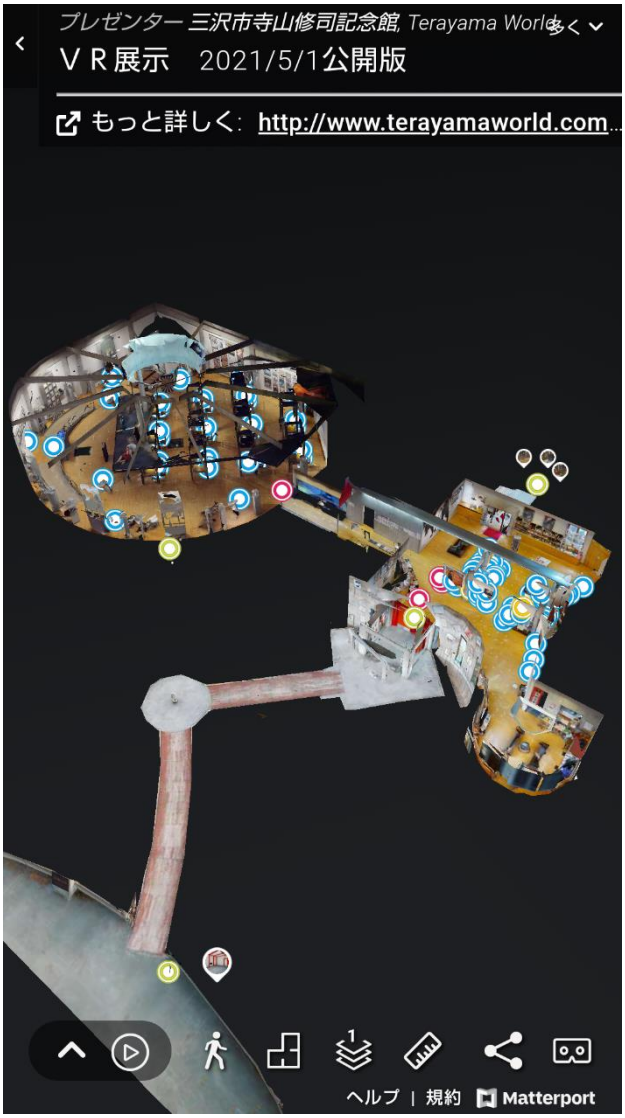
■「VR 展示」のなかで体験できること

館を訪れた時の鑑賞体験の再現にとどまらず、VR ならではのコンテンツも追加しています。
いつでもどこでも楽しめる新しい鑑賞体験です。

① 全館の空間把握

ミニチュア模型のように自在に動かし、好きな角度から見ることができる。

館を訪れたことがある方も、まだの方も、これまで体験したことのない、まさに「仮想現実」体験。



② 解説動画

- 佐々木英明館長のあいさつ　＊撮り下ろし
- 常設展の楽しみ方（佐々木館長）　＊撮り下ろし
- 企画展　展示概要　＊撮り下ろし
- 企画展　解説　　＊撮り下ろし　など。

③ 常設展示　鑑賞

唯一無二の体験型展示の手法と、寺山演劇の世界観を凝縮した劇場空間が一体となった展示室。寺山ファンの聖地といわれる秘密がここに隠されています。その展示全体を体感してください。一部の資料画像とその説明を見ることもできます。

佐々木館長が展示の見方を紹介する動画もあるので、来館前の予習にもなるかもしれません。

また、ＶＲ有料版限定では、館内では立入禁止になっている展示エリアに入ることができます。館内での鑑賞体験の上をいく、＋αの感動を！

④ 企画展示　鑑賞

現在開催中の企画展を観覧することができます。展示全体のストーリーを追ったり、拡大できる一部の資料画像や詳しい説明を見たり、楽しみ方はそれぞれです。現地で展示を観たあとの振り返りとして、実際の企画展鑑賞と併用すれば、楽しさ２倍！

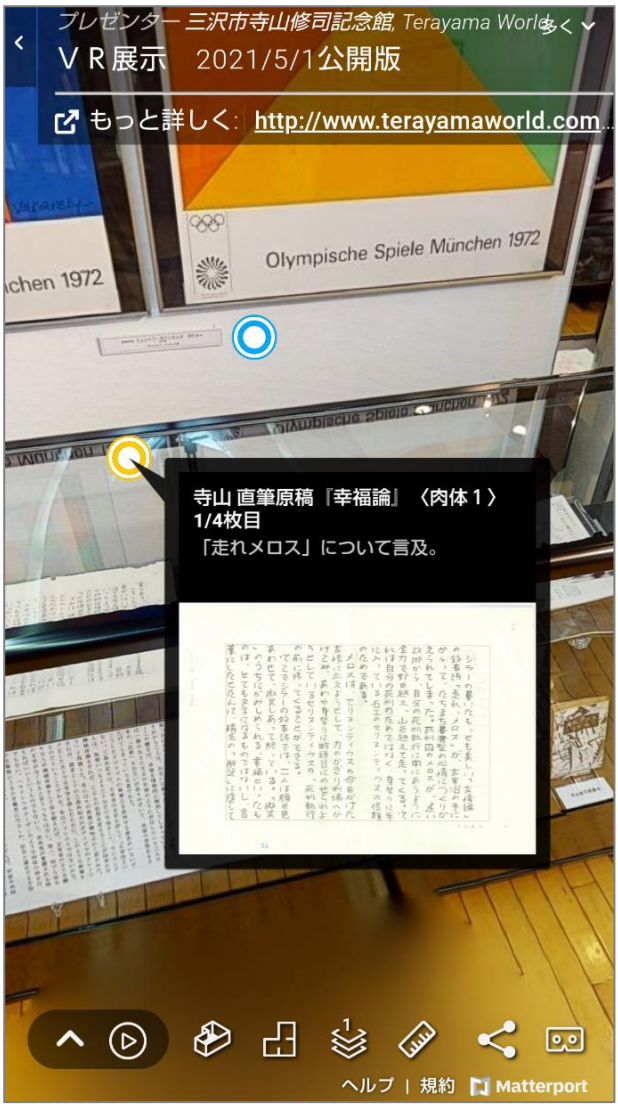
●特別企画展 2020「オリンピックと寺山修司」（無料体験版）　期限なし

●企画展 2021 vol.1「ジャパン・アヴァンギャルド－アングラ演劇傑作ポスター展－」（有料）

会期：2021 年 4 月 6 日～2021 年 9 月 26 日

※ＶＲ展示の公開期間とは異なります。

今後、企画展毎に制作予定



公開後も、コンテンツを順次追加していくことで、注目度と鮮度を保ちながら運用していきます。

事業目的

１．新しい公共の在り方として、より公益性の高いプラットフォームを確立する

昨今、新型コロナウイルス感染症の影響で、外出や遠出の自粛が求められるなか、全国の社会教育施設・公共施設といった場が担ってきた、人々が集う場としての役割が揺らいでいる。施設側はこれまで行ってきた積極的な施設利用の呼びかけに迷いが生じており、利用者側からも同様に利用を躊躇う声が聞かれる。今後もこの状況が続くことが予想される。

また、勃興した代替事業のオンラインツール・コンテンツは、代替としてではなく、新たな学び方・楽しみ方として定着しつつあり、事態が収束した後も、若年層を中心に一定数の利用が見込まれる。**これまでとは違った新しい形態の展示公開を行い、教育・観光といった観点から公益性の向上を目指す。**あくまでリアルの展示鑑賞・体験に優位性があることを認めた上で、プレ鑑賞体験を通して「館に行ってみたい」という強い動機づけにつながると考えている。

２．ユニバーサルな社会の実現への挑戦

ここでは、ユニバーサルな社会を、あらゆる人に利用しやすいデザイン設計がされ、それぞれ個人がもっている力を発揮できる社会と位置付ける。

当館は施設のハード面では、駐車場から展示室まで段差がない床面や、障がい者用トイレ・車椅子の設置など、比較的使用しやすい。しかしながら、寺山の世界観の再現を第一に掲げた展示設計は、見やすさを優先するものではない。

障がいのある人にとってやさしいバリアフリーな社会は、同時にすべての人にとって利用しやすいユニバーサルデザインとなる。**文化・言語・国籍や年齢・性別・能力などのあらゆる違いをもったすべての人たちに向けて、学び、楽しむことができる仕組みを生みだす。**このあらゆる違いをもったすべての人に、等しく機会を提供する可能性を持っているのが、VR 技術である。

現在は共生社会実現のための具体的な施策づくり、社会全体の意識づけが必要な段階である。当館を所管する三沢市が、2020 年度から施行する「共生のこころ育む条例」にならうものである。

３．開催企画展のアーカイブ

これまで当館で行ってきた年２～３回の企画展は、図録の作成など行っておらず、一般の利用者に見てもらえるような公開アーカイブの形はとってこなかった。企画展は展示期間が終わってしまうと、全て解体してしまい、あとには残らない言わば「消え物」である。

ここ数年、テラヤマ・ワールドは、従来得意とする視覚的な楽しみを意識した展示ノウハウに加え、寺山の最新研究を反映した内容を心がけ、それ自体をひとつの作品や研究成果として見ることが出来るような良質な企画展を開催している。これはアーカイブ公開に最適な内容であり、社会教育的意義の達成とともに、今後の利用促進に向けた高い宣伝効果を見込める。

事業の展開

無料版・有料版を並行して楽しめるように運用していきます。

多様なニーズに合わせた多角化コンテンツに育てていくことを目標とします。

＊＊＊

企画・製作：三沢市寺山修司記念館／テラヤマ・ワールド

VR 展示撮影製作・動画撮影編集・ウェブ制作：イドセンス

本事業窓口　0176-59-3434／shuji.terayama.museum@gmail.com（寺山修司記念館）

Matterport（マーターポート） pro2 という赤外線を利用した撮影ができるカメラで撮影を行っています。米国では主に建築現場で利用されており、撮影をするだけで簡易な 3D モデルデータを生成し、自由に好きな場所を歩く体験を提供させることが可能です。建造物を再現するのに向いている技術で商業施設だけなく、海外ではエジプトのピラミッドやお城の撮影に利用されています。

すべては夢だ
現実だと思いこんでいたすべてのことは夢であり、夢だとしか思いようのなかった
脱出がいまは現実なのだ

寺山修司　叙事詩「李庚順」

美術館は、アプリオリに存在しているのではなく、時に応じて成り立つものである。
それは、しばしば「在る」ものではなく、鑑賞者の体験によって「成らしめられる」
無名の形態なのだ。

寺山修司の芸術論集「パフォーマンスの魔術師」

さあ、地獄巡りだよ。こんな空っぽの世の中だ。地獄巡りのほかに何がある？

寺山脚本映画「涙を、獅子のたて髪に」